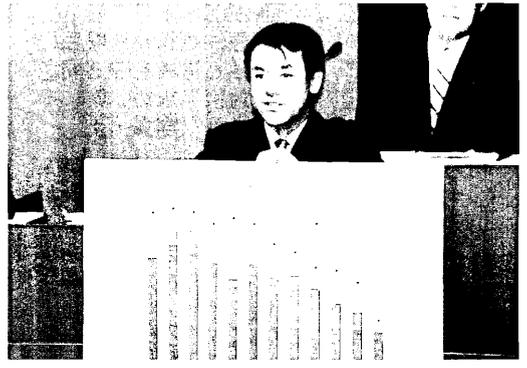


県民の「格差」と「貧困」問題で正面から論戦

後期高齢者医療制度に独自支援を

森脇ひさき県議が一般質問



設けるよう県広域連合への支援をおこなうよう求めました。しかし、石井知事は「その考えはない」と拒みました。森脇県議は、「この間の原油・原材料価格の急激な高騰に対し、施設園芸農家等への支援として、経費節減につながる電気機器導入への補助・融資制度の実施、電気料金優遇制度の設定へ電力会社、知事会等への働きかけをおこなうよう求めました。また、中小事業者・農林漁業者等に対しては、燃料代や機材・原材料購入費への補助、県民税の減税等の実施を、昨年度から夏・冬の介護金が廃止された生活保護世帯に対しては、援護金の復活も含めて低所得者に対する特別の財政支援を求めました。知事は、「電気料金優遇制度の設定への働きかけについては、今後、施設園芸農家の電力需要や制度設定の要望を踏まえ検討してまいりたい」と答えました。

件のうち派遣労働者の労災が五十四件を占めることをあげ、「短期労働が多いため安全衛生面での指導が徹底できない」と指摘。「国会でわが党の志位和夫委員長の追及に福田首相も『好ましくない』とのべた」ことを紹介し、石井知事の見解を問いました。知事は「雇用の安定、社会保険や有給休暇などの労働条件の確保、また産業人材の育成などの観点から、私も好ましいものではないと認識している」と答えました。

四月からはじまる後期高齢者医療制度について、森脇県議は、東京都広域連合が低所得者の保険料を二年間独自に軽減する制度を創設していることを紹介し、岡山県でも高齢者が安心して生活し医療が受けられるように保険料負担を軽くする制度を

森脇県議は、日雇い派遣の増加について、〇七年に増えた労働災害五十八

医療費を小学校卒業まで無料に

赤坂てる子県議が一般質問

赤坂県議は、「安心して子どもを産み育てられる県にするため、医療費を小学校卒業まで無料に」と知事に迫りました。

で、兵庫県は入・通院とも小学三年生まで無料だと紹介。小学校就学前までとなっている岡山県は遅れていると指摘しました。すでに県内六市町村が中学卒業まで無料化し、新年度から新見

神奈川県、東京都や群馬県が中学卒業までの無料化を決め、京都府と新潟県、愛知県は入院を小学卒業ま

まで無料にするなど、多くの市町村が拡充を計画しているとし、市町村の期待に応えるよう求めました。



中学校	岡山県	秋田県
30人以下	25.1%	
25人以下	7.6%	17.2%

また、国の制度で今年四月から、小学入学前までの子どもの医療費自己負担が三割から二割に軽減されることをあげ、「県の負担が軽減される分を対象年齢の引き上げに活用すべきです」と求めました。

石井知事は「他県の動向などふまえないながら、適切に対応していきたい」と答えました。また、国が小学入学前までの医療費自己負担を二割にすることによる県の負担軽減分は、予算で約一億三千万円になると答えました。

赤坂県議は、食の安全の問題に関連して、輸入依存の食料政策を転換し自

森脇県議の質問項目

- ①来年度予算案について
 - 1緊急要求にすまやかに応えよー原油・原材料費高騰問題
 - 2住民の命を守る県政へ
 - ・後期高齢者医療制度へ県の独自支援を
 - ・障害者自立支援法にもとづく障害者の負担軽減、施設経営への支援を
 - ・単身重度心身障害者医療費補助を元服者の福祉の処遇改善のため、県として給与加算を
 - 3住民が安心して暮らせる岡山県へ
 - ・大気汚染監視計の削減は問題あり
 - ・住居のない地域の県道へ街路灯設置を
 - ②行財政改革ー支局および保健所の再編について
 - ③中国残留孤児への新しい支援について
 - ④人間らしい働き方について(派遣労働問題)
 - ⑤特別支援教育について
 - 1岡山東養護学校生徒の岡山盲学校施設の一部利用について
 - 2子どもの医療費を小学校卒業まで無料に
 - 3高等特別支援学校(職業科)の整備について

赤坂県議の質問項目

- ①子どもと家族を応援し、安心して子どもを産み育てられる岡山県に
 - 1子どもの医療費を小学校卒業まで無料に
 - 2妊産婦検診について
- ②教育の問題
- ③食の安全・安心の確保
- ④多重債務者対策について
- ⑤ごみ処理広域化問題
- ⑥チボリ問題
- ⑦ナルトビエイ対策について

給率の向上をはかることが急務だが、その上で、地方が地産地消に思い切った取り組みが必要であると指摘。子どもたちの学校給食の地産地消を推進するうえで大切な地場産食料の安定的供給のネットワーク体制づくりはどう取り組んでいるのか、質しました。



〇八年度一般会計予算案に反対

武田英夫県議が討論

武田県議はまず、来年度一般会計予算案について、チボリ事業の終結に向けて県施設アイコン等撤去費用が計上されるなど一定評価できるものもあるが、県単独の障害者医療制度の一割負担による受診抑制にみられる医療・福祉の切捨てなど承服し難い内容もあることを指摘し、反対の態度を表明しました。

請願・陳情に関しては、「永住外国人への地方参政権の付与を日本政府に求める意見書を探採しないよう求める」陳情は「不採択」に、「児童扶養手当の減額見直しを求める」陳情は「採択」するよう主張しました。

「岡山市の政令指定都市の指定に関する意見書案」に対し武田県議は、政令市という制度に異論はないが、人口要件である「直近の国勢調査」における七〇万人という基

準すからクリアしていないこと、体制上も、二〇歳代の土木・建築の技術職員が、県の八七人、倉敷市の二三人に比して、岡山市は一桁台しかないことなど、条件が熟していないことを指摘し、「反対」を表明しました。

民主県民クが提出した「道路特定財源制度改革についての意見書案」について、武田県議は、一般財源化を求めるこの意見書には賛成だが、問題の根本である、「一〇年間で五九兆円使いきり」という「道路中期計画」の仕組みに対する指摘がないことには不満であること、現実問題として道路特定財源として地方に回ってくるお金は地方には欠かせない財源となっており、それを廃止した場合の地方財政対策とりわけ地方交付税の減額を元に戻し拡充を図ることがこの問題に不可欠であることを強調しました。



活動日誌

▶2007年12月26日
『日本共産党労働者派遣法改正要求』を求め、県に申し入れ。

▶2008年1月7日
原油高騰から県民の生活と営業を守るための緊急提言』を求め、県に申し入れ (写真・上)

党の『高齢介護・障害者福祉分野の深刻な人材不足を打開するための緊急提言』を求め、県に申し入れ。

▶2月1日
2008年度予算に関する知事折衝(写真・中)

▶3月12日
『日本共産党の農業再生プラン』を求め、県に申し入れ。(写真・下)

チボリ

「土地所有者等に財政支援は困難」…石井知事 いまだに県の税金投入に固執…民主

赤坂県議の一般質問への答弁で、石井知事は「土地所有者等に対して、この『等』というのはディベロPPER等の開発業者等も考えられるところでございますが、直接財政的な支援を行う、ということは困難である、このように考えているところでございます」と明確に答弁しました。

先に議長が実施した、県議を対象としたアンケートでは、「全面廃止もやむを得ない」「今後は県からの支援はすべきではない」が半数近く

を占め、県議会内の世論も大きく様変わりしています。

ところが、民主県民クの鈴木一茂県議(倉敷・都窪)は「用地を縮小し、県、倉敷市、チボリ・ジャパン社、地元有志、クラブウなどが負担を分け合って公園を存続させてはどうか」と質問。二月議会の質問戦のなかでは、鈴木議員と、無所属の福田通雅議員(岡山第二)の二人だけが、知事に対し公然と「税金投入の継続」を要求しました。

政務調査費の領収書公開問題 自民党もやっと「賛成」したが…

三月十四日に開かれた議会運営委員会で、政務調査費問題の領収書添付問題に関して、一定の方向が出ました。

これまで領収書の公表については、自主的に公開している日本共産党だけでなく、民主県民クと公明が一〇以上の領収書公表に賛成の態度を表明、自民党だけが賛成していませんでした。

それが、今回ようやく、自民党県議団も公表「賛成」の立場を明らかにしました。

ところが、これが、「領収書公表は一万円以上」という条件付きで、しかも「公開の期限は区切らない」というもの。これでは、領収書を小分けすることでもいくらかでも非公開にできるし、公開開始のメドすら立ちません。

ただでさえ、岡山県議会は中国地方で最も出遅れています。県民みなさんの厳しい批判の声を集中しましょう。

2008年4～6月の議会日程(予定)

委員会の積極的な視聴を

4月11日(金)	議会運営委員会	10時30分～	武田
4月15日(火)	各常任委員会	10時30分～	全員
5月7日(水)	各常任委員会	10時30分～	全員
5月8日(木)	議会運営委員会	10時30分～	武田
5月13日(火)	議会運営委員会	10時30分～	武田
5月15日(木)	臨時議会	10時30分～	全員
5月16日(金)	議会運営委員会	10時30分～	武田
5月19日(月)	各常任委員会	10時30分～	全員
5月20日(火)	決算特別委員会 行財政改革・道州制等特別委員会	10時30分～ 10時30分～	森脇 赤坂
5月21日(水)	子ども応援特別委員会	10時30分～	武田
5月29日(木)	各常任委員会	10時30分～	全員
5月30日(金)	特別委員会	10時30分～	全員
6月2日(月)	議会運営委員会	10時30分～	武田
6月23日(月)	特別委員会	10時30分～	全員
6月24日(火)	各常任委員会	10時30分～	全員
6月26日(木)	議会運営委員会	10時30分～	武田

6月定例県議会は、6月9日開会、30日閉会の予定。代表質問は6月12・13日、一般質問は6月17・18・19日の予定(20日は予備日)。日本共産党からは、武田英夫県議が一般質問、森脇ひさき県議が討論に立つ予定です。請願・陳情の受付は、6月11日(水)までです。

主な議案と請願・陳情の結果

【議案・発議】	共産	自民	民県ク	公明	結果
平成20年度岡山県一般会計予算	×	○	○	○	○
岡山市の政令指定都市の指定に関する意見書案	×	○	○	○	○
2016年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京招致を支援する決議案	×	○	○	○	○
道路特定財源制度改革についての意見書案	○	×	○	×	×

※、○賛成、×反対

2月定例県議会は、知事提案の60議案と議員発議4議案を原案どおり可決し、閉会しました。わが党は、知事提案8議案、議員発議2議案に反対、計57議案に賛成しました。

【請願・陳情】	共産	自民	民県ク	公明	結果
永住外国人への地方参政権の付与を日本政府に求める意見書を探採しないよう求めることについて (日本会議岡山)	×	△	×	×	△
児童扶養手当の減額見直しを求めることについて (児童扶養手当を考える会)	○	×	○	○	×

※、○採択、×不採択、△継続